



宗次ホールコンサートシリーズ
世界のカルテット ∞ カルテットの世界

SQ.48

Quatuor Akilone アキロン・クアルテット



PHOTO: Damien Richard

エムリン・コンセ
(ヴァイオリン)
Emeline Concé
violin

エリーズ・ドゥ＝ベンドウラック
(ヴァイオリン)
Elise De-Bendelac
violin

ルイズ・デジャルダン
(ヴィオラ)
Louise Desjardins
viola

ルーシー・メアカット
(チェロ)
Lucie Mercat
cello

2011年パリで結成。それぞれ感性豊かでありながら確固たる意志のある個性を併せ持つ4人の音楽家の出会いによって誕生した。彼らが行き届く作品への深く詩的な解釈は高く評価され、音楽性、賢明さ、想像力をもって、広大な弦楽四重奏曲作品の数々に立ち向かっている。アキロンとは天と地を結ぶ「夙」を意味するイタリア語に由来する。

2016年5月、第8回ボルドー国際弦楽四重奏コンクールにて第1位、プロカルテット賞受賞。その色彩豊かで誠実かつ調和のとれた演奏が絶賛された。オランジェリー・ドゥ・ソー(L'Orangerie de Sceaux)、ラ・ロッシュ＝ボゼの音楽祭「ハイドン氏の休暇」(Les Vacances de Monsieur Haydn)、アーク音楽祭(the Festival des Arcs)といったフランスの音楽祭のみならず、マンチェスターのRNCM室内音楽祭など海外の音楽祭にも招かれている。またヴラティミール・メンデルスゾーン、ジャン・フランソワ・エッセール、ジェローム・ベルノ等との共演を経てますます進化を遂げている。パリ国立高等音楽院で、ヴラティミール・メンデルスゾーン、ジャン・シュレム、エペヌ弦楽四重奏団に助言を受け2016年に卒業。現在はヨーロッパ室内楽アカデミー(ECMA)により、偉大な室内楽奏者であるハット・バイエルレ(元アルバン・ベルク四重奏団ヴィオラ奏者)、ヨハネス・マイスル(ウィーン・アルティス・カルテット第2ヴァイオリン奏者)等に師事しさらなる研鑽を積んでいる。

他の芸術家との出会いによってインスピレーションを得ることも大事にしており、「シュールレアリストの冒険(Aventures surréalistes)」等の作品創造と演奏に関わることによって、芸術間の橋渡しをすることを願っている。聴衆と、今まさに危機に瀕している音楽界を絆で結ぶ必要に駆られ、あまり演奏されない場所でも、広く門戸を開く努力をしており、フランスのコンセール・ド・ポッシュ(Concerts de Poche)や海外ではムゼティカ(Musethica)との連携で教育プログラムにも力を入れる。

2017年1月にウィグモアホール(ロンドン)に出演、3月にターリヒ四重奏団と八重奏曲を演奏する予定。また日本、イギリス、イタリア、ドイツでのツアーが予定されている。またアキロン・クアルテットは、ソシエテ・ジェネラル音楽メセナ(MMSG)からの支援を受けている。

※ヴィオラのルイズ・デジャルダンは2015年東京国際ヴィオラコンクールで第3位を受賞している。

公式ウェブサイト <http://www.quatuorakilone.com/> (仏語)

ボルドー国際コンクールとは

フランス南西部に位置するワインで有名な都市ボルドーにて3年毎に開催される弦楽四重奏コンクール。ミュンヘン、バンフ(カナダ)、P.ボルチアーニ(イタリア)などの国際コンクールと並び、若きカルテットの登竜門として高い難易度、注目度を持った大会である。この大会の前身であるエヴィアン国際弦楽四重奏コンクールの頃の優勝者にはブラジャーク四重奏団(以下Qと略)、タカーチQなどの名前が並び、その後ボルドーに開催地を移しての初の1999年大会ではベルチャQが優勝。

その後も2007年のアトリウムQ、2013年のシューマンQと、現在世界中で活躍する団体が第1位に名を連ねている。

■交通アクセス
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック


宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)